

# 花の実ごころ

今回は、10月に実ごころを迎える  
ヤマボウシを紹介します。



ヤマボウシ (山法師) ミズキ科ミズキ属  
学名: *Cornus kousa* subsp. *Kousa*

高さ5~10mになる落葉高木。6~7月に目立つ花弁に見える4枚の白い部分は総苞片という花の付け根の葉に相当し、中心の淡黄緑色で小さく目立たない花は20個から40個ほどが球状に密集している。

10月頃に赤く熟す実は食べられ、果実酒にも適する。果実が食用になるためクワの実に見立て、別名でヤマグワと呼ぶ地域も多い。

公園樹や街路樹として好まれるハナミズキ(ミズキ属)は、近縁種である。

## 公園の紹介

動画共有サービス YouTube にて各公園の情報を発信しています。  
YouTubeサイトで検索Qマークに「東京都公園協会」、「TOKYO EAST PARK」、「西武・パークレンジャー」と入力してください。

## イベント情報

都立公園イベント情報については

または、下記のアドレスにアクセスしてください。

[https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index\\_calendar.html](https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index_calendar.html)

◇花の見ごころ情報は、年6回(2ヵ月ごと)の発行を予定しています。

◇花の見ごころ情報のホームページ

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/park/hananomigoro/index.html>

または、花の見ごころ情報東京都建設局で検索してください。過去の情報もご覧いただけます。

東京都建設局公園緑地部 03-5320-5372,5365



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

印刷物規格表第1類

登録番号 (4) 35

# 花の見ごころ情報

2022

9・10



リンドウ

## 今月の花



バラ  
(初恋)

都立公園散策アプリ「Tokyo Parks Navi」



Android版 iOS版

# 今月の花

**リンドウ** (竜胆) リンドウ科リンドウ属 *Gentiana scabra* var. *buergeri*

本州から四国・九州の明るい野山に自生する多年草で、秋の山野草の代表的なものです。

かつて水田のあぜなどに数輪ずつ多数自生していましたが、都市化とともに見る機会が減ってきています。

根を乾燥したものを漢方薬の「竜胆 (りゅうたん)」といい、和名のリンドウはこの竜胆 (りゅうたん) の音読みに由来します。敬老の日にはリンドウを贈る習慣は、この薬効効果から「健康を祈る」説と高貴な色を表す紫色の「尊敬の念を表す」説とがあります。

リンドウは日光が当たると花を開かせるという性質があり、雨や曇りの日は萎んでしまいます。自宅で栽培しやすい園芸品種も多数あり、日当たりのよいところに植えるとより楽しめるでしょう。

都立公園では小宮公園や滝山公園、神代植物公園内植物多様性センターでご覧いただけます。



神代植物公園 秋のバラ園

**バラ** (薔薇) バラ科バラ属 *Rosaceae Rosa*

バラは当初薬用や香料として利用され、やがて観賞用として栽培されるようになりました。19世紀にはいると、バラ育種が盛んになります。その歴史の長さを反映して、花の形や様々な香り、つるバラなど種類はバラエティ豊かです。

秋バラは、気温差によって花色が濃くなるため、本来の色が美しく発色します。花弁数の多い春バラほどのボリューム感はありませんが、その分1輪1輪に艶があり、奥深い色合いが生まれます。

10月初旬から徐々に開花を始め、中旬から下旬にかけて長く見ごろとなります。気温の低いこの時期はゆっくり花が開き、香りも長く放出されます。香り高い午前中に公園散策を楽しまれてはいかがでしょうか。

都立公園では、秋留台公園、神代植物公園、旧古河庭園、代々木公園、日比谷公園などでお楽しみいただけます。

## お問合せ先

- 滝山公園：八王子市高月町、舟木町2,3丁目 ☎042-623-1615
- 小宮公園：八王子市暁町2-41-6 ☎042-623-1615
- 秋留台公園：あきる野市二宮673-1 ☎042-559-6910
- 神代植物公園：調布市深大寺元町5-31-10 ☎042-483-2300
- 代々木公園：渋谷区代々木神園町2-1 ☎03-3469-6081
- 日比谷公園：千代田区日比谷公園1-6 ☎03-3501-6428
- 旧古河庭園：北区西ヶ原1-27-39 ☎03-3910-0394